

教育大綱の再確認について

1. これまでの総合教育会議のまとめ

- ・教育大綱は、制定から 10 年目が経過
- ・市長 1 期目（令和 4 年）に教育大綱を再確認し、見直しは「なし」でそのままの形で運用することとなった
- ・市長 2 期目（令和 7 年）も改めて教育大綱（前文含む）の内容を再確認した方が良い
- ・第 1 回総合教育会議の中で出た意見を踏まえて、今後、「見直しをする・しない」を含めて協議していく
- ・大綱は生涯教育の理念であり、対象は全ての市民とする
- ・教育大綱に係る主な意見は以下のとおり

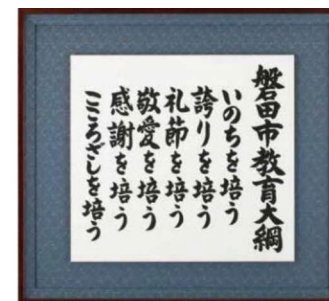
【教育大綱に係る主な意見】

（第 1 回）

- ① 「培う」が東井義雄先生著書の「培其根」の理念に基づくことを分かるようにしてはどうか
- ② 「培う」はそのまま残した方が良い
- ③ 6つの「培う」を覚えやすいように整理してみてもどうか
- ④ 「共創」の言葉を入れた方が良い
- ⑤ 当時、教育大綱をつくった人たちの想いは大切にすべき

（第 2 回）

- ① 前文（たたき台）の事業者は、地域以外の事業者も含めた解釈とする
- ② 前文、大綱を検討する上でたキーワード
「多様性」「可能性」「一人一人が育つ力」「グローバル」「リカレント教育」
「レジリエンス」「自己有効感」「自己有用感」「自己効力感」



2. 現行と前文見直し（案）

【現行】

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「磐田の教育」道しるべ」と、子どもたちの成長を育む“磐田市こども憲章”により、進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。

【見直し】

磐田市の教育は、教育者・東井義雄の著書『培其根』にある『根を養えば、樹は自ら育つ』を理念とした6つの「培う」を教育大綱に掲げ、以下の3点を推進します。

- 1 かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張り、**多様な人々と共に生きる精神**と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり**変化の激しい現代**社会を生き抜く力を育成します。
- 2 学校・地域・家庭・**事業者**の連携・融合など、**新時代の教育コミュニティを「共創」によって形成し**、次代の社会をつくる学びの場を創造します。
- 3 「教育大綱」は、本市の未来をひらく礎となる基本理念であり、その進むべき方向性は“磐田の教育”道しるべ」と、子どもたちの成長を育む“磐田市こども憲章”に示されています。学校・地域・家庭・**事業者**への浸透を目指します。

3. 前文見直し（案）と主な変更点

磐田市の教育は、教育者・東井義雄の著書『培其根』にある『根を養えば、樹は自ら育つ』を理念とした6つの「培う」を教育大綱に掲げ、以下の3点を推進します。

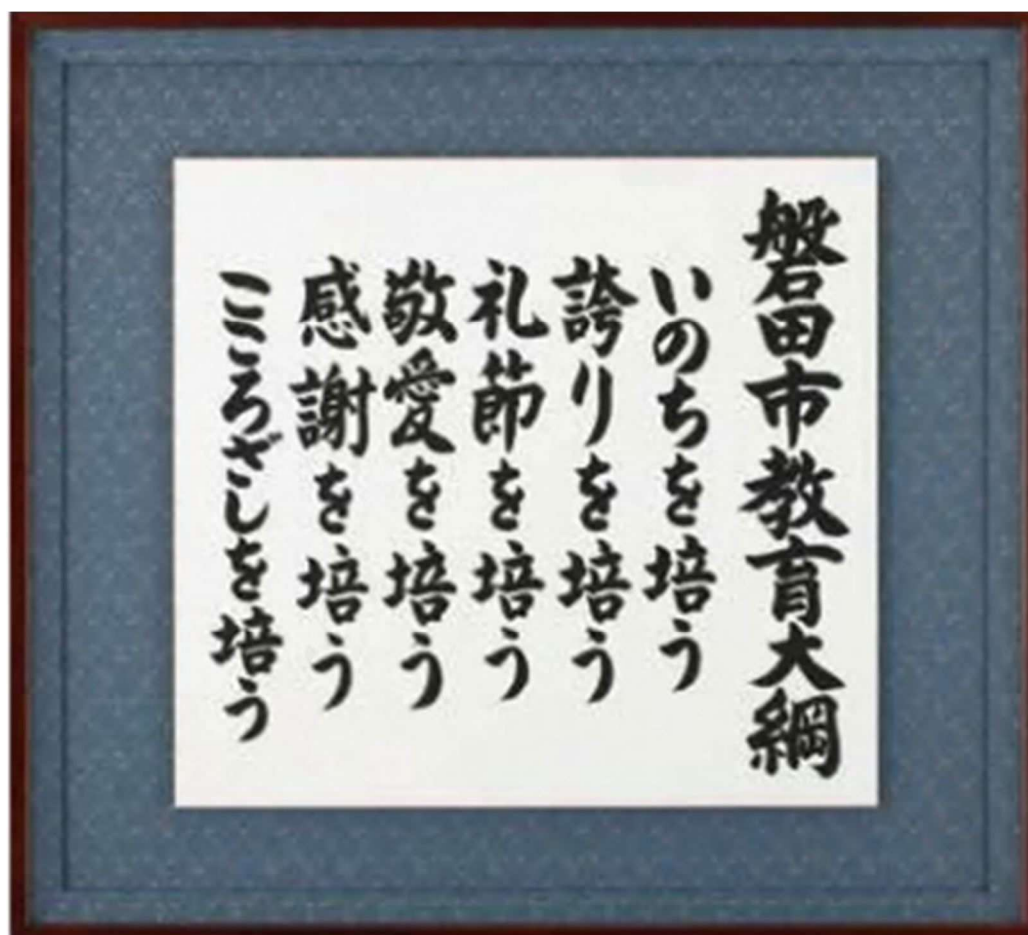
- 1 かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張り、**多様な人々と共に生きる精神**と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり**変化の激しい現代**社会を生き抜く力を育成します。
- 2 学校・地域・家庭・**事業者**の連携・融合など、**新時代の教育コミュニティを「共創」によって形成し**、次代の社会をつくる学びの場を創造します。
- 3 **「教育大綱」は、本市の未来をひらく礎となる基本理念であり、その進むべき方向性は“「磐田の教育」道しるべ”と、子どもたちの成長を育む“磐田市こども憲章”に示されています。**学校・地域・家庭・**事業者**への浸透を目指します。

○前文の変更内容

第1回、第2回の総合教育会議の意見を踏まえて、趣旨を変えない形で変更しています。

行数	主な内容	現行との変更点
1～2行目	教育者「東井義雄」の著書「培其根」	・「培其根」をもとにしていることを追加
3～4行目	大綱により目指す人間形成	・6つの「培う」から解釈しにくい「多様性」の要素を追加 ・「現代社会への適応」の要素を追加
5～6行目	学ぶ場所、育成する場所づくり	・「市内だけでなく、磐田の教育に関わる全ての事業者」の要素を追加 ・「共創」の要素を追加
7～8行目	「磐田の教育」道しるべと磐田市こども憲章との関連性	・「市内だけでなく、磐田の教育に関わる全ての事業者」の要素を追加

磐田市教育大綱



磐田市の教育は、教育者・東井義雄の著書『培其根』にある『根を養えば、樹は自ら育つ』を理念とした6つの「培う」を教育大綱に掲げ、以下の3点を推進します。

- 1 かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張り、多様な人々と共に生きる精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり変化の激しい現代社会を生き抜く力を育成します。
- 2 学校・地域・家庭・事業者の連携・融合など、新時代の教育コミュニティを「共創」によって形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。
- 3 「教育大綱」は、本市の未来をひらく礎となる基本理念であり、その進むべき方向性は“「磐田の教育」道しるべ”と、子どもたちの成長を育む“磐田市こども憲章”に示されています。学校・地域・家庭・事業者への浸透を目指します。